



コウノトリ保全フォーラム

野生復帰10年、

そして新たな旅立ち

ー全国へー

そして世界へー

2015年11月29日「日」

第1部 10時30分ー11時50分 定員…200名

第2部 12時30分ー16時45分 対象…中学生以上

〔主催〕コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル  
(Inter-institutional Panel on Population Management of the Oriental White Stork)

〔共催〕公益財団法人東京動物園協会、兵庫県立コウノトリの郷公園、福井県、野田市、  
豊岡市、越前市、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科、  
コウノトリと共生する地域づくり推進協議会(野田市)

〔後援〕環境省、文化庁、公益社団法人日本動物園水族館協会

開催場所 東京都美術館 講堂 (東京・上野公園)



今年は、日本の空にコウノトリがよみがえって10年という節目の年です。1988年に多摩動物公園が、国内初となるコウノトリの繁殖に成功し、これが、コウノトリ保全の大きな第一歩となりました。翌年、兵庫県でも繁殖に成功。その後の飼育下個体数の安定的な増加につながっていきました。こうした飼育下での成果やコウノトリと人が共生する環境づくりをすすめるなか、2005年に兵庫県立コウノトリの郷公園が試験放鳥を開始しました。

飼育下だけでなく、野外個体群も80羽を超え順調に個体数が増えています。国内では福井県と千葉県野田市が、海外では韓国が新たに放鳥事業を開始するなど、今年はコウノトリの野生復帰にとって、生息域拡大に期待が持てる新たな旅立ちの年にもなりました。

一見すると順調なコウノトリの保全も、個体群の遺伝的多様性維持、生息環境の改善、社会的な軋轢など様々な課題もあります。

今回のフォーラムでは、韓国を含め、野生復帰を目指し放鳥を実施した組織が初めて一堂に会して、成果を発表します。今後の課題解決や展望について多様な立場から議論を行い、コウノトリ保全の道標を示すことを目的に開催します。

#### [応募方法]

往復はがき、またはEメールで以下のとおりお申し込みください。

第1部・第2部どちらか一方のみのお申し込みも可能です。

※応募者多数の場合は抽選を行い、当落にかかわらずお知らせします。

#### 往復はがき

希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を明記し、返信面に代表者の住所・氏名を記入のうえ、以下のあて先までお送りください。

【あて先】〒191-0042 日野市程久保7-1-1

多摩動物公園「コウノトリ保全フォーラム」係

【締 切】2015年11月15日(日)消印有効

#### Eメール

stork2015@tokyo-zoo.netあてに、件名を「コウノトリ保全フォーラム」とし、本文に希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送りください。お申し込みの際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。(特に、携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。)

【締 切】2015年11月15日(日)送信分まで有効

## 第1部 研究報告を中心に

10:30-11:50

### 「IPPM-OWSの設立趣旨と活動内容、今後の展開」

日橋一昭 (IPPM-OWS副代表 / (公社)日本動物園水族館協会 生物多様性委員会委員長 / 狭山市立智光山公園こども動物園長)

### 「コウノトリの個体群管理をどう進めるか？」

大橋直哉 ((公社)日本動物園水族館協会 コウノトリ計画管理者 / 井の頭自然文化園 教育普及係長)

### 「コウノトリの潜在的な生息可能域を地図化する」

三橋弘宗 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所 / 兵庫県立人と自然の博物館)

### 「DNA マーカーを用いたコウノトリの遺伝的解析」

内藤和明 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科准教授)

## 第2部 講演及びパネルディスカッション

12:30-16:45

—野生復帰10年、そして新たな旅立ち

### 講演

#### 「生息域外保全の取組み—飼育下繁殖の歩みと成果」

福田 豊 (IPPM-OWS副代表 / (公財)東京動物園協会 多摩動物公園長)

#### 「野生復帰10年の成果—域内個体群再生の理論と実践」

江崎保男 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科科長・教授 / 兵庫県立コウノトリの郷公園統括研究部長)

#### 「豊岡の挑戦」

中貝宗治 (豊岡市長)

#### 「福井県におけるコウノトリの野生復帰の取り組みについて」

西垣正男 (福井県安全環境部自然環境課主任)

#### 「野田市から関東の空へ—コウノトリをシンボルとした自然と共生する地域づくり—」

根本 崇 (野田市長)

#### 「韓国におけるコウノトリ再導入の歴史と戦略」

朴 是龍 (パク・シリョン) (国立韓国教員大学校教授)

#### 「サントリーの環境活動—『愛鳥』と『天然水の森』」

山田 健 (サントリーホールディングス株式会社エコ戦略部チーフスペシャリスト)

### パネルディスカッション

#### 「コウノトリ野生復帰の未来 ~全国へそして世界へ~」

コーディネーター: 福田 豊

パネリスト: 山岸 哲 (IPPM-OWS代表 / 兵庫県立コウノトリの郷公園長)、

日橋一昭、中貝宗治、根本 崇、山田 健

#### [問合せ先]

コウノトリの個体群管理に関する機関・

施設間パネル事務局 (井の頭自然文化園)

TEL:0422-46-1100 FAX:0422-46-1906

#### [開催場所]

### 東京都美術館 講堂

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

最寄り駅からの所要時間:

JR上野駅「公園口」より徒歩7分 / 東京メトロ銀座線・

日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分 / 京成電鉄

京成上野駅より徒歩10分

※駐車場はございませんので、車での来館の際はご遠慮ください。

<http://www.tobikan.jp>